

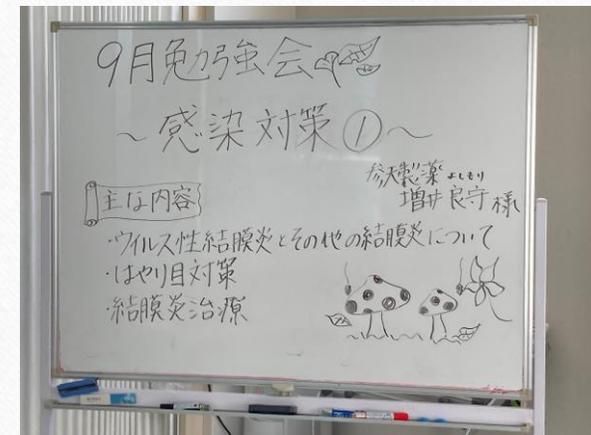
感染対策

2023/9/21

にいつ眼科院内勉強会

主な内容

1. ウイルス性結膜炎とアレルギー性結膜炎の鑑別
2. ウイルス性結膜炎「はやり眼」の対策
3. 結膜炎の治療



ウイルス性急性結膜炎（はやり眼目）

- 感染後7～14日で発病。主にアデノウイルスDに感染した患者さんの分泌物がもとで伝染する。伝染性が非常に強い。10日以上も感染力が維持することがある。
- まぶたの裏側のブツブツや充血、まぶたの腫れ、流涙、痛みなどの症状が強く現れる。
- この病気に有効な点眼薬はなく、補助的に抗菌点眼薬やステロイド点眼薬を使用する。

アレルギー性結膜炎

- 花粉などのアレルゲンや、家のダニやほこりなどが原因で起こる結膜炎。
- 目のかゆみ、充血、はれなどが出て、かゆいことによりこすってしまうとさらに症状が悪化して、目を傷つけ、目がゴロゴロしたり、かすんだり、まぶしく感じたりする。
- 抗アレルギー点眼薬で治療。

ウイルス性結膜炎 鑑別の仕方

- ウイルス性結膜炎は、突然、急激に症状が現れる。
- 症状が強い。 明るい赤色の充血、、急激にまぶたがはれる、目やに、流涙、耳の前のリンパ腺が腫れる 発熱など。
- 家族全員に伝染することもあります。
- 厚生労働省の5類感染症→保育園・学校・会社などは医師の許可が必要

感染防止

- 他の患者様とは別の椅子で隔離（理想は別室）
- 移動は極力避け、会計なども1か所で行う。
- できるだけ、触らない。診察環境は速やかに清浄化
- 接触部位は消毒
- 薬局への処方箋に事前に押印
- 家族間ではタオルを共用しない
- 手洗いの徹底



ご理解をお願い致します

- 当院でも、受付の際に症状をお聞かせいただき、ウイルス性結膜炎を疑われる場合は、皆さんとは別の椅子へご案内をさせていただいております。さらに、できるだけ移動はされないようお願いしております。
- 会計も別でさせていただいておりますので、ご協力をお願いいたします。